

会 議 録

	第1回和泉市緑の基本計画懇談会
開催日時	令和元年8月21日（水）14時00分から16時00分まで
開催場所	市議会委員会室（市役所3号館3階）
出席者	和泉市緑の基本計画委員 増田会長 内田委員 藤田委員 久保委員 東委員 中委員 和泉市 副市長、都市デザイン部長、都市デザイン部次長（建築住宅・公園緑地担当）
事務局	公園緑地課
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> ・開会、副市長挨拶 ・委嘱状交付 ・委員紹介 ・会長挨拶 ・議事（1）緑の基本計画とは ・議事（2）和泉市のみどりの現状と現行計画の振り返り ・議事（3）和泉市のみどりに関わる近年の動向と緑の基本計画改定の視点
会議の要旨	平成11年3月に策定した「和泉市緑の基本計画」において、その後の都市緑地法等の改正、大阪府による「みどりの大阪推進計画」の策定、本市総合計画及び都市計画マスタープラン等の上位・関連計画の改定、社会情勢の変化等を踏まえ、当計画の改定にあたって、関係各方面から意見をいただく。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録

<p>記録内容の 確認方法</p>	<p>■会議の議長の確認を得ている □出席した構成員全員の確認を得ている □その他</p>
<p>その他の必要 事項（会議の 公開・非公開、 傍聴人数等）</p>	<p>会議公開</p>
<p>審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）</p>	
<p>・開会、副市長挨拶 事務局より挨拶およびお知らせとお願い、資料の確認 副市長より挨拶</p> <p>・委嘱状交付 副市長より委嘱状の交付</p> <p>・委員紹介 事務局より各委員および参加者の紹介 増田会長より挨拶</p> <p>・議事（1）緑の基本計画とは</p> <p>・議事（2）和泉市のみどりの現状と現行計画の振り返り</p> <p>《質疑》 ○改定計画では、区域別方針まで踏み込んで議論するのか。 →第5次総合計画の北部地域・北西部地域・中部地域・南部地域の4つに分けての計画を検討する予定である。</p>	

○改定計画では、トータルとしての計画指標・目標指標とともに、個々の KPI はどうするのか。

→第5次総合計画に目標数値等があるので、整合するように考えたい。

《意見》

○緑の基本計画と都市計画マスタープランは裏と表の関係であり、整合が取れる事が重要である。

○和泉市は環境政策に力を入れており、自然環境調査や観察会を実施している。環境計画との整合性も重要である。

○アンケート結果を基に、地域別にどのような特性が見られるかの分析をし、地域毎の計画を市民の意見を踏まえた形で作成頂きたい。

○気候変動の影響などの議論になると、どの程度の水分を緑自体が保全しているのか、太陽光の反射でどの程度の気温を下げているのか、などが重要である。

○和泉市には日本、近畿圏でも有数の貧栄養湿地群落の信太山丘陵がある。また、アカガシ林という非常に自然度の高い照葉樹林がある。そのような緑の質に対しても意識して頂きたい。

○緑被率で質などを見るのであれば、どの程度のスケールの比較をするのか、また、どの時期で計測をするのかを考慮し、慎重かつ丁寧に比較するものを作成して頂きたい。

○生産緑地法に関し、農地をどこまで残せるのかという議論が必要である。

議事 (3) 和泉市のみどりに関わる近年の動向と緑の基本計画改定の視点

《意見》

○防災意識の更なる高まりという中で、気象災害としての熱中症の問題や、ゲリラ豪雨に対する治水の概念等を意識して頂きたい。

○資料2の「市民の庭づくりの推進」を強化することと、「みんなで進める緑のまちづくり」の考え方の見直しが重要。

○改定の視点4の「実現性とメリハリのある計画づくり」という表現について、実現性のある取り組みだけを優先的に推進することになると、長期的に見ると大切であ

るが、短期的には効果が見えてこないの見落としになってしまうことになるため、注意が必要である。

○都市公園の整備などは、実現性だけで考えると財政に支配され、都市改善に繋がらない。必要性をしっかりと検討し、実現性を加味していくという視点が必要である。

○新たな大規模公園を作ることは非常に難しいが、今ある公園をいかに魅力的にするのか、どう活用していくのかを考えていく必要がある。

○生態系を守るための施策は和泉市域だけでなく、他地域と連担していないと意味がない。上位計画や周辺計画との整合性が非常に重要である。

○農林業で関連する計画があれば整合をとる必要がある。営農者など、緑の保全の担い手について考えていくことが特に重要である。

○森林環境贈与税について、今年度中に大阪府の森林整備指針をオープンにする予定であり、それらと連携をして頂きたい。

○農業の展開について、和泉市は南部丘陵に直販があり、民間も含めて上手く連携して頂きたい。

○企業の CSR 活動の一環としてのボランティア、大学生の社会学習としてのボランティアなどが今後は重要となってくる。従来型の 60 歳代や早期に定年退職をしてまだ体力があるという方だけに頼れない時代が来ているということを意識して頂きたい。

以上